

令和3年6月3日

患者様、ご家族様、関係者の皆様へ

医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院

院長 梅津 祐一

このたびは新型コロナウイルス感染症の集団発生により、入院中の患者様やご家族、そのほか関係者の皆様にご心配やご迷惑をおかけしたことを心よりお詫びいたします。

いまだ、2名の患者様は他院のコロナ専用病棟で懸命に入院治療中であり、2名のスタッフは自宅、ホテル療養中で、ほかの患者様はコロナ後遺症の治療を続けながら、当院でリハビリテーションに励んでおられます。一日も早い回復を心よりお祈り申し上げます。残念ながら、1名の患者様は他院において懸命の治療にも関わらず、ご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご家族様へ心からお悔やみ申し上げます。

5月1日に感染者が判明し、5月2日より保健所、感染症専門医の先生のご指導のもと、軽症、中等症の患者様の治療や、嚴重な感染拡大予防による病棟管理を行ってまいりました。本日で感染者判明後約1か月の経過となりますが、この間5月17日より段階的に隔離の解放を行ってまいりました。個々の患者様に応じ健康観察期間が終了した時点より、リハビリテーションを開始し、5月24日からはスタッフ管理のもとでの入浴や病棟廊下での歩行訓練等をリハビリテーション専門職の個別対応時に行うことが可能となりました。また、健康観察期間を過ぎて自宅退院を希望された患者様には、訪問リハビリテーションなどの手段でリハビリテーションを再開させることができました。

患者様、スタッフ全員の全快が感染の完全終息だとは思いますが、本日6月3日をもって、保健所指導による病棟管理が終了しましたので、3階病棟は開放させていただきます。

当該病棟入院の患者様に対し、当初定めたリハビリテーションの目標を達成させることが病院の最低限の責務と考え、全職員挙げて取り組む所存であります。

今後も、更なる感染拡大予防に万全の対策を行い、地域のリハビリテーション医療に貢献していきたいと思っております。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、今回の新型コロナウイルスの集団発生に関わられたすべての皆様に対し、重ねてお詫び申し上げますとともに、お亡くなりになられた患者様のご冥福と、治療中の患者様の全快を心よりお祈り申し上げます。